

中学校 英語

11 3 根拠をもって考えを伝える英文を書く 通過率 43.6%

11 次の英文は、アメリカの学校に転校したミホ (Miho) が、スミス先生 (Mr. Smith) から渡されたポスターの内容について、同級生のトム (Tom) に質問しているときの会話文です。英文を読んで、あとの1～3の間に答えなさい。

JOIN SUMMER CAMP

Date : July 31 - August 5
 Place : ABC School
 Start : 9:00
 Age : 13 - 17

You can enjoy...

Sports: tennis, soccer, baseball
 Music: guitar, piano

Miho : Tom, what is this poster?
 Tom : Well, this is a poster about (①).
 Miho : Oh, really? Can I join it?
 Tom : Yes, you can. You can enjoy sports and music.
 Miho : Good! ②What sport can I play there?
 Tom : You can play (②).
 Miho : Nice! I like soccer very much.
 Tom : You can enjoy music, too.
 Miho : How about my sister? She plays the piano well.
 Tom : How old is she?
 Miho : She is eighteen. ③Can she join it, too?
 Tom : (③).

(注) join 参加する camp キャンプ date 日付 place 場所
 age 年齢 poster ポスター How about～? ～はどうですか。

3 あなたがトムだったら、下線部③のミホの質問に何と答えますか。本文中の(③)にはまる英文を1文書きなさい。また、なぜそのように答えたのか、その理由を日本語で書きなさい。

(正答例)

No, she can't **理由** 参加できるのは(13才から)17才までだから。

問題の趣旨

根拠をもち、自分の考えを伝える英文を書くことができるかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容

ウ 読むこと

(ウ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

エ 書くこと

(ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。

主な解答例

主な解答例		割合 (%)
○	Can she join it, too? に対する返答の英文とその理由を日本語で書いている。 No, she can't / No, she cannot / No / Sorry, she can't / Sorry, she cannot 理由 参加できるのは(13才から)17才までだから。	37.8
△	Can she join it, too? に対する返答の英文が No では答えてはいないが、参加できないことは伝えている。またその理由を日本語で書いている。 She can't join it / She cannot join it 理由 参加できるのは(13才から)17才までだから。	2.1
△	理由も英語で書いている。	0.3
△	英文について、内容を理解する上で支障のない誤りが1か所ある。	3.4
×	英文について、内容を理解する上で支障のない誤りが2か所以上ある。	0.7
×	理由を書いていない。	0.6
×	理由だけ書いている。	0.2
×	上記以外の解答	35.5
—	無解答	19.4

課題

- 英語の文章を読んで、与えられた情報を正しくとらえること。
- 英語の文章から、自分の考えの根拠となる部分を抜き出すこと。

指導のポイント

根拠をもって考えを伝える英文を書くために

基礎作り

英文を正確に「読む」ために、その手がかりとなる語句や表現をまとめた単語リストを作成しましょう。3年間の見通しをもって、よく使われる単語や表現をまとめると効果的です。

- (例)
- ① 動詞(1日の生活が表現できる動詞や連語)
 - ② 名詞(スポーツ, 教科, 動物, 家族に関する身近な名詞)
 - ③ 形容詞(色, 大きさ, 感情を表す形容詞)
 - ④ 数・序数, 季節・月・曜日
 - ⑤ 疑問詞(5W1H), あいづちなど会話をつなぐ表現 等

よく使う単語や表現をまとめましょう。



単語リストを使って、授業では英文をペアで言い合う、Bingo ゲームで単語に慣れさせる等の活動を取り入れ、家庭では1日1ページ等で語句や表現を練習させ、小テスト等で確認するなど、授業と家庭学習を結び付ける指導を継続して行い、基礎的な内容の定着を図りましょう。

聞かせる

Warm-Up 活動等で、聞く活動を取り入れ、話の内容から理由を考えさせましょう。



(例) Can I use this pen?

Why?

Oh, I see.

No, you can't.

Sorry, it's not my pen.



読ませる

これまで学習したことを基に、情報を読み取る活動を仕組みましょう。例えば、物語では、どのような登場人物がいるのか、主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなど、大まかな流れをつかみながら読み取らせたり、説明文では、特に中心となる事柄など大切な部分をとらえて的確に読み取らせたりしましょう。また、理由を考えさせ、それは英文のどこの部分から読み取れるかを考えさせる活動を仕組みましょう。

(例) Tom: Why do you study English?
Emi: Because I like English songs.

(例) Emi: Can you come to the party this weekend?
Tom: No, I can't. I have a lot of homework.
Emi: Oh, I see. Next time!

「理由」を考えさせましょう。



気付かせる

「理由」を見つけるポイントに気付かせましょう。

- (例) Why?の後にはその理由となる文がある。
- (例) 理由を示す表現 because がある。
- (例) 関連する文の近くに理由がある。 等

書かせる

これまでに学習した表現を使って、気持ちや理由をつけて紹介文や説明文を書いたり話したりする活動につなげましょう。指導する際に、紹介文の型を示すと、書くための手立てとなります。発表する際は、写真やポスター等で具体を示しながら説明させると効果的です。

(例)

- ① 紹介 This is my favorite singer. Her name is . . .
- ② 特徴 She is very cute. She can sing and dance very well.
And her songs are very nice.
- ③ 気持ちや理由 So I like her very much.



活用させる



ALT に話してみよう !!

事実だけでなく、自分の気持ちや理由も書かせましょう。

12

1 中心となる事柄の把握

通過率 46.5%

2 適切な質問を考え英文を書く

通過率 51.0%

12 次の英文は、ユキ(Yuki)と留学生のマーク(Mark)が、ユキのクラスの時間割を見ながら、授業や部活動について話している会話文です。英文を読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

Mark : Yuki, do you have any English classes?
 Yuki : Yes, I have four English classes in a week. On Monday I have an English class in the morning.
 Mark : Is your English teacher Japanese?
 Yuki : Yes. His name is Mr. Kimura. I like his class.
 Mark : Good. How many Japanese classes do you have?
 Yuki : I have four.
 Mark : I see. When do you study math?
 Yuki : I study it on Monday, Thursday and Friday.
 Mark : My favorite subject is science. How about you?
 Yuki : My favorite subjects are English and music. But I have only one music class in a week.
 Mark : Oh, really? What do you do after school every day?
 Yuki : I play the guitar. I am in the music club.
 Mark : Wow! Can I go and see your club activities next Wednesday?
 Yuki : Yes, you can.

(注) in the morning 午前 science 理科
 How about～? ～はどうですか。 only ～だけ
 club activities 部活動 music club 音楽部 next 次の

1 会話文の内容に合ったユキのクラスの時間割を、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。(ただし、空欄には他の教科が入っているものとします。)

ア

	開始時刻	月	火	水	木	金
1	8:40～				英	
2	9:40～	理	英	国		国
3	10:40～	音	国		理	数
4	11:40～	国			数	英
5	13:30～	数		理		
6	14:30～	英				理

イ

	開始時刻	月	火	水	木	金
1	8:40～					英
2	9:40～		国	理	理	
3	10:40～	英				数
4	11:40～		英	国	国	英
5	13:30～	数	理		数	
6	14:30～	理	数			音

ウ

	開始時刻	月	火	水	木	金
1	8:40～		英			
2	9:40～	英	国		国	数
3	10:40～			国		
4	11:40～	理			英	英
5	13:30～	国		理		理
6	14:30～	数	理		数	音

エ

	開始時刻	月	火	水	木	金
1	8:40～		英			
2	9:40～	理		英		
3	10:40～	英		音	英	理
4	11:40～		理	国	国	
5	13:30～	国		理		国
6	14:30～	数	数			数

2 あなたがマークなら、授業や部活動に対して他にどんな質問をしますか。質問を1つ考えて英語で書きなさい。

(正答例) 1 ウ
 2 How many science classes do you have?

12 1

問題の趣旨

情報を基に、中心となる事柄を正確に読み取ることができるかをみる。

学習指導要領における領域・内容

ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

主な解答例

主な解答例		割合 (%)
○	ウ	46.5
×	ア	9.3
×	イ	14.8
×	エ	23.6
×	上記以外の解答	0.4
—	無解答	5.4

課題

○ まとまった英文を正確に読み、情報を整理すること。

問題の趣旨

情報を基に、それに関連する質問を考え、英文を書くことができるかをみる。

学習指導要領における領域・内容

ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと

(ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。

主な解答例

	主な解答例	割合 (%)
○	①文法的に正しく、質問の英文を1文書いている。 ②マークがユキに質問した内容とは異なる質問の英文を書いている。 (例) ・ How many science classes do you have (in a week)? ・ Can you play the guitar well? ・ Who is your music teacher? / Who's your music teacher? ・ Why do you like music? など	38.0
△	内容を理解する上で支障のない誤り（例：綴りの誤り、大文字・小文字の誤り、動詞の三人称単数形の誤り、複数形の誤り、代名詞の誤り、冠詞の誤り、前置詞の誤り、符号の誤り等）が、1～2か所ある。	13.0
×	内容を理解する上で支障のない誤り（例：綴りの誤り、大文字・小文字の誤り、動詞の三人称単数形の誤り、複数形の誤り、代名詞の誤り、冠詞の誤り、前置詞の誤り、符号の誤り等）が、3か所以上ある。	2.5
×	①文法的に正しく、質問の英文を1文書いている。 ②マークがユキにした内容と同じ質問の英文を書いている。	3.1
×	内容を理解する上で支障のない誤り（例：綴りの誤り、大文字・小文字の誤り、動詞の三人称単数形の誤り、複数形の誤り、代名詞の誤り、冠詞の誤り、前置詞の誤り、符号の誤り等）がある。	1.1
×	上記以外の解答	22.8
—	無解答	19.5

課題

- 英語の文章を読んで、情報を整理しながら、その内容の大切な部分を正確に読み取ること。
- 英語の文章を読んで、内容に関連した質問を書くこと。
- 単語や英文を正確に書くこと。

指導のポイント

- ・ 情報を基に、中心となる事柄を正確に読むために
- ・ 読んだ文章に関連した内容で、自分の考えを書くために

基礎作り

基礎的な内容の定着を図りましょう。(P.101 参照)

聞かせる

自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて概要や要点を適切に聞き取ったりする活動を行いましょう。大まかな内容から徐々に細かい情報を聞き取れるように、聞き取りのポイントを示し、メモを取らせましょう。まずは、音声面からしっかりインプットさせましょう。

(例)



<スクリプト>

This is my son. His name is Ken. He is a junior high school student. He likes music and sports. Every morning he gets up at 6:15. He eats breakfast at 6:50. After breakfast he practices the piano. He usually walks to school, but every Tuesday and Thursday he has piano lessons after school. So on those days he doesn't walk to school.

【聞き取りのポイントを示す】

- ① 主人公は誰か。
- ② 何の話か。
- ③ 具体的な情報は何か。
- ④ 疑問に思ったことは何か。

読ませる

英文の大切な部分を読み取り、情報を整理する活動を行いましょう。後で整理しやすいように、読み取りのポイントを示したり、具体的な情報には線を引かせたりしましょう。

(例)

<英文>

This is my son. His name is Ken. He is a junior high school student. He likes music and sports. Every morning he gets up at 6:15. He eats breakfast at 6:50. After breakfast he practices the piano. He usually walks to school, but every Tuesday and Thursday he has piano lessons after school. So on those days he doesn't walk to school.

【読み取りのポイントを示す】

- ① 主人公は誰か。
- ② 何の話か。
- ③ 具体的な情報は何か。
- ④ 疑問に思ったことは何か。

思考させる

整理した情報について、英語で質問する活動を行いましょう。

(例) 「疑問に思ったことは何か。」「詳しく知りたい情報は何か。」等について、なぜそう思ったのか、英語で何と質問するのかを考えさせましょう。



「毎週火曜日と木曜日は歩いて登校しない。」と書かれているけど、その日はどうやって学校に来るのか知りたいな。
“How does he come to school on every Tuesday and Thursday?” と質問してみよう。自転車で来るのかな。バスで来るのかな。



「音楽とスポーツが好きだ。」と書かれているから、何のスポーツが好きか知りたいな。私はテニス大好きだから、“I like tennis very much. What sport does he like?” と質問してみよう。私と同じならうれしいな。

活用させる



既習の表現を使って、聞き取ったり、質問したりする活動を繰り返し行うことで、「即興」で話したり聞いたりする力を身に付けさせましょう。

例えば、ALT に手紙を書いたり、インタビューしたりする等、学習したことを活用する場面や実生活と結び付けるような場面を設定し、生徒に興味・関心を持たせ、主体的に学ばせましょう。